



Snap Creator 4.0.x からアップグレードする

Snap Creator Framework

NetApp
January 20, 2026

目次

Snap Creator 4.0.x からアップグレードする	1
Windows での Snap Creator サーバ 4.0.x のアップグレード	1
UNIX ベースのシステムでの Snap Creator サーバ 4.0.x のアップグレード	3
Windows での Snap Creator エージェント 4.0.x のアップグレード	4
UNIX での Snap Creator エージェント 4.0.x のアップグレード	6

Snap Creator 4.0.x からアップグレードする

Snap Creator 4.0.x からアップグレードすると、データベーススキーマがアップグレードされます。

Windows での Snap Creator サーバ 4.0.x のアップグレード

Windows 上の Snap Creator サーバ 4.0.x から直接アップグレードできます。

- Snap Creator に特殊文字を含むユーザ名がある場合は、アルファベット（a~z と A~Z）のみを使用し、それらのユーザの名前を変更する必要があります。
- Snap Creator ディレクトリをバックアップしてバックアップデータが完全であることを確認する前に、Snap Creator のサービス（「napcreatorserverservice」および「Snapcreatoragentservice」）を停止しておく必要があります。

たとえば、サービススナップインを使用してサービスを停止できます。

- a. 「* Start * > * Run *」を選択し、「ervices.msc」と入力します。
- b. Snap Creator サービスを探して選択し、サービスを停止します。または、コマンドプロンプトを開いて次のコマンドを入力することもできます。

```
sc stop snapcreatorserverservice
sc stop snapcreatoragentservice
```

- 次のディレクトリと、関連付けられているすべてのサブディレクトリとファイルをバックアップしておく必要があります。これらのディレクトリは、Snap Creator 4.0.x Server エンジンのサブディレクトリ（C:\Program Files\NetApp\Snap_Creator_Framework\scServer4.0.x\engine）内にバックアップされている必要があります。
 - Snap Creator データベース（./snapcreator）
 - Snap Creator サーバのプロパティ（..\etc）
 - プロファイルと構成（..\configs）
 - ログ（..\logs） * 注：* 作成した Snap Creator 4.0.x バックアップコピーは削除していないでください。
- （オプション） Snap Creator エージェントが Snap Creator サーバと同じホストにインストールされている場合は、agent.conf ファイル（C:\Program Files\NetApp\SnapManagerCreator_Framework\scAgent4.x\config\agent.conf）をすでにバックアップしておく必要があります。

以降の手順で示すパスは、Windows のデフォルトのインストールパスです。デフォルト値を使用しなかった場合は、パス情報がインストールパスと異なることがあります。

アップグレードプロセスが完了したら、次の点を考慮してください。

- アップグレードされた Snap Creator データベースに「in progress」とマークされたタスクが含まれている場合、アップグレード・プロセスが完了しても、状態は同じままで。
- 最新の Snap Creator のデフォルト管理者は、Snap Creator 4.0.x で管理者である必要があります。

ユーザが管理者でない場合、アップグレードにより、4.0.x ユーザにオペレータロールが割り当てられます。

- a. Snap Creator サービスをまだ停止していない場合は停止します。

サービスの停止については、このトピックで前述した詳細を参照してください。

- b. Snap Creator (Windows) をアンインストールするには、* Start * > * Programs * > * Snap Creator * > * Uninstall NetApp Snap Creator Framework を選択します。

詳細については、Windows での Snap Creator のアンインストールに関する情報を参照してください。

- c. 最新の Snap Creator サーバをインストールします。

詳細については、Windows への Snap Creator サーバのインストールに関する情報を参照してください。

- d. 最新の Snap Creator サーバのインストール時に Snap Creator サーバのサービスを開始するように選択した場合は、サービスを停止します。

サービスの停止については、このトピックで前述した詳細を参照してください。

- e. 最新の Snap Creator Server データベースフォルダ (C:\Program Files\NetApp\Snap Creator_Framework\scServer4.1.x\engine\snapcreator) を削除します。

- f. バックアップした Snap Creator 4.0.x データベースのディレクトリを最新の場所 (C:\Program Files\NetApp\Virtual Creator_Framework\scServer4.1.x\engine\snapcreator) にコピーします。

- g. バックアップした Snap Creator 4.0.x のプロファイルと設定ディレクトリを最新の場所 (C:\Program Files\NetApp\Virtual Creator_Framework\scServer4.1.x\engine\configs) にコピーします。

- h. バックアップした Snap Creator 4.0.x のログディレクトリを最新の場所 (C:\Program Files\NetApp\Virtual Creator_Framework\scServer4.1.x\engine\logs) にコピーします。

- i. コマンドプロンプトを開き、Snap Creator のインストールパス (C:\Program Files\NetApp\Snap Creator_Framework\scServer4.1.x\engine) の engine サブディレクトリにディレクトリを変更します。

- j. 次のコマンドを入力して、Snap Creator をアップグレードします。java -jar snapcreator.jar -upgrade

アップグレードプロセスが完了したら、次のいずれかの方法で Snap Creator サーバサービスを開始します。

- サービススナップインを使用してサービスを開始します。
- コマンドプロンプトで、次のコマンドを入力します。「-c start snapcreatorserverservice」

また、指定したポート上のローカルホストに移動することで、Snap Creator Framework の GUI の起動を検証する必要があります。

HTTPS を使用して接続する必要があります。接続が HTTPS 接続に自動的にリダイレクトされず、GUI が機能しません。

- 関連情報 *

[Snap Creator サーバをインストールします](#)

UNIX ベースのシステムでの Snap Creator サーバ 4.0.x のアップグレード

UNIX ベースのシステムでは、 Snap Creator サーバ 4.0.x から直接アップグレードできます。

- Snap Creator に特殊文字を含むユーザ名がある場合は、アルファベット（ a~z または A~Z ）のみを使用し、それらのユーザの名前を変更する必要があります。
- Snap Creator のディレクトリをバックアップする前に Snap Creator のプロセスを停止し、バックアップされたデータが確実に完了するようにしておきます。

たとえば、次のコマンドを入力します。

```
/install_path/scServer4.0.x/bin/scServer stop  
/install_path/scAgent4.0.x/bin/scAgent stop
```

- Snap Creator 4.0.x Server エンジンのサブディレクトリ（ /install_path/scServer4.0.x/engine ）に、次のディレクトリと、関連するすべてのサブディレクトリおよびファイルをバックアップしておきます。
 - Snap Creator データベース（ ./snapcreator ）
 - Snap Creator サーバのプロパティ（ /etc ）
 - プロファイルと構成（ ./configs ）
 - ログ（ ./logs ） * メモ： * 作成した Snap Creator 4.0.x バックアップコピーは削除していないでください。

次の手順で指定するパスは、デフォルトのインストールパスを示しています。以下のコマンドで入力するパスは、インストールパスと異なる場合があります。

アップグレードプロセスが完了したら、次の点を考慮してください。

- アップグレード対象の Snap Creator データベースに「実行中」とマークされたタスクが含まれている場合、アップグレードプロセスが完了しても状態は同じままです。
- 最新の Snap Creator のデフォルト管理者は、 Snap Creator 4.0.x で管理者である必要があります 4.0.x ユーザが管理者でない場合、アップグレードにより、 4.0.x ユーザにオペレータロールが割り当てられます。
 - a. Snap Creator プロセスをまだ停止していない場合は停止します。

プロセスの停止については、このトピックで前述した詳細を参照してください。

- b. 最新の Snap Creator をインストールします。ただし、 Snap Creator サーバサービスは開始しないでください。

詳細については、 UNIX への Snap Creator サーバのインストールに関する情報を参照してください。

- c. バックアップした Snap Creator 4.0.x データベースディレクトリを最新の場所にコピーします（

- /install_path/scServer4.1.x/engine/snapcreator)。
- d. バックアップした 4.0.x のプロファイルと設定ディレクトリを最新の場所（/install_path/scServer4.1.x/engine/configs）にコピーします。
 - e. バックアップした 4.0.x のログディレクトリを最新の場所（/install_path/scServer4.1.x/engine/logs）にコピーします。
 - f. Snap Creator のインストールパス（/install_path/scServer4.1.x/engine）のエンジンサブディレクトリにディレクトリを変更します。
 - g. 次のコマンドを入力して、Snap Creator をアップグレードします。java -jar snapcreator.jar -upgrade

アップグレードプロセスが完了したら、次のコマンドを入力して、Snap Creator サーバのサービスを開始します。

/install_path/scServer4.1.x/bin/scServerstart に入力します

また、Snap Creator 4.0 のインストールディレクトリも削除します。



古いバージョンにリバートする必要がないことが確実に確認されるまで、バックアップコピーを削除しないでください。

また、指定したポート上のローカルホストに移動することで、Snap Creator Framework の GUI の起動を検証する必要があります。

HTTPS を使用して接続する必要があります。接続が HTTPS 接続に自動的にリダイレクトされず、GUI が機能しません。

- 関連情報 *

[UNIX ベースのシステムへの Snap Creator サーバのインストール](#)

Windows での Snap Creator エージェント 4.0.x のアップグレード

Windows 上の Snap Creator エージェント 4.0.x から直接アップグレードできます。

- Snap Creator エージェントのディレクトリをバックアップしてバックアップデータが完全であることを確認する前に、Snap Creator エージェントサービス（「napcreatoragentservice」）を停止しておきます。

たとえば、サービススナップインを使用してサービスを停止できます。

- a. 「* Start * > * Run *」を選択し、「services.msc」と入力します。
- b. Snap Creator エージェントサービスを探して選択し、サービスを停止します。または、コマンドプロンプトを開いて次のコマンドを入力することもできます。

```
sc stop snapcreatoragentservice
```

- Snap Creator エージェントのディレクトリ（C:\Program Files\NetApp\Virtual Snap

_Creator_Framework\scAgent4.0.x) に、次のディレクトリと、関連付けられているすべてのサブディレクトリおよびファイルをバックアップしておく必要があります。

- agent.conf ファイル (..\config\agent.conf)



Snap Creator サーバが同じシステムにインストールされている場合は、 Snap Creator サーバ 4.0.x をアップグレードするときに、このファイルをすでにバックアップしている可能性があります

- ログディレクトリ (有効な場合) (..\logs)
- Plug-ins ディレクトリ (..\plugins)

4.1 より前のバージョンの Snap Creator エージェントでは、 agent.conf というファイルを使用して、 Snap Creator の外部で Snap Creator エージェント上で実行される可能性のあるコマンドをリストしました。4.1 では、 allowed_command.config ファイルが使用されます。

同様に、 Snap Creator エージェントが通信を許可されている agent.conf ファイルが表示されたホスト。デフォルトでは、 Snap Creator エージェントはすべての Snap Creator サーバとの通信を許可しました。ただし、以前のバージョンの Snap Creator でこの機能を使用するように選択した場合は、 agent.properties ファイルの authorized_hosts パラメータがこの機能を置き換えます。



これらのパラメータを使用しなかった場合は、新しいエージェントを簡単にインストールするだけで済みます。

以降の手順で示すパスは、 Windows のデフォルトのインストールパスです。デフォルトを使用しなかった場合は、パス情報がインストールパスと異なることがあります。

1. Snap Creator エージェントサービスをまだ停止していない場合は停止します。

サービスの停止については、このトピックで前述した詳細を参照してください。

2. Snap Creator (Windows) をアンインストールするには、 * Start * > * Programs * > * Snap Creator * > * Uninstall NetApp Snap Creator Framework * を選択します。

詳細については、 Windows での Snap Creator のアンインストールに関する情報を参照してください。

3. 最新の Snap Creator エージェントをインストールします。

詳細については、 Windows への Snap Creator エージェントのインストールに関する情報を参照してください。

4. バックアップした agent.conf ファイルのコピーをテキストエディタで開きます。

agent.conf の例を次に示します。

```
host: scServer@Tampico
command: sdcli.exe
```

5. 新しい allowed_commands.config ファイル (C : \Program Files\NetApp\SnapManager Creator_Framework\scAgent4.1.x\etc\allowed_commands.config) をテキストエディタで開き、

agent.conf のコマンドラインを allowed_commands.config ファイルにコピーします。ただし、最新の Snap Creator のセキュリティ強化により、コマンドが完全に認定されていることを確認してください。

前述の例では、 allowed_command.config ファイルに次の情報を指定する必要があります。

```
command: "C:\Program Files\NetApp\SnapDrive\sdcli.exe"
```



[".code]Program Files の間のスペースのため、コマンドをカプセル化するには引用符を含める必要があります。コマンドにスペースが含まれていない場合は、引用符は必要ありません。

必要に応じて、コマンドを個別の行に追加できます。

6. ファイルを保存して閉じます。
7. テキストエディタで agent.properties ファイル (C : \Program Files\NetApp\Virtual Creator_Framework\scAgent4.1.x\etc\agent.properties) を開き、 authorized_hosts=* のデフォルトのエントリを変更して、 agent.conf ファイルのホスト設定を反映します。

前述の例では、 authorized_hosts パラメータに次の値を指定する必要があります。

```
AUTHORIZED_HOSTS=Tampico
```

ホストは必要に応じて追加できます。複数のホスト名を指定する場合はカンマで区切ります。ホスト名と IP アドレスの両方がサポートされます。

```
AUTHORIZED_HOSTS=Tampico, 10.10.10.192, Fuji01
```

8. ファイルを保存して閉じます。
9. 次のいずれかを実行して、 Snap Creator エージェントサービスを開始します。
 - サービススナップインを使用してサービスを開始します。
 - コマンドプロンプトで、次のコマンドを入力します。 「 c start snapcreatoragentservice ** Note : * allowed_commands.config ファイルまたは agent.properties ファイルに対する変更は、変更が行われたときに Snap Creator エージェントの再起動が必要です。
 - 関連情報 *

[Windows への Snap Creator エージェントのインストール](#)

[Windows での Snap Creator のアンインストール](#)

UNIX での Snap Creator エージェント 4.0.x のアップグレード

UNIX 上の Snap Creator エージェント 4.0.x から直接アップグレードできます。

- Snap Creator エージェントのディレクトリをバックアップする前に Snap Creator エージェントを停止し、バックアップされたデータが確実に完了するようにしておきます。

たとえば、次のコマンドを入力します。

```
/install_path/scAgent4.0.x/bin/scAgent stop
```

- Snap Creator エージェントのディレクトリ（/install_path/scAgent4.0.x）に、次のディレクトリと、関連するすべてのサブディレクトリおよびファイルをバックアップしておく必要があります。
 - agent.conf ファイル（./config/agent.conf）
 - ログディレクトリ（有効な場合）（./logs）
 - Plug-ins ディレクトリ（./plugins）

4.1 より前のバージョンの Snap Creator エージェントでは、agent.conf というファイルを使用して、Snap Creator の外部で Snap Creator エージェント上で実行される可能性のあるコマンドをリストしました。4.1 では、allowed_command.config ファイルが使用されます。

同様に、Snap Creator エージェントが通信を許可されている agent.conf ファイルが表示されたホスト。デフォルトでは、Snap Creator エージェントはすべての Snap Creator サーバとの通信を許可しました。ただし、旧バージョンの Snap Creator でこの機能を使用するように選択した場合は、agent.properties ファイルのauthorized_hosts パラメータがこの機能に置き換えられます。



これらのパラメータを使用しなかった場合は、新しいエージェントを簡単にインストールするだけで済みます。

次の手順で指定するパスは、デフォルトのインストールパスを示しています。以下のコマンドで入力するパスは、インストールパスと異なる場合があります。

1. Snap Creator エージェントをまだ停止していない場合は停止します。

詳細については、このトピックで前述の説明を参照してください。

2. 最新の Snap Creator エージェントをインストールします。ただし、Snap Creator エージェントは起動しないでください。

詳細については、UNIXへの Snap Creator エージェントのインストールに関する情報を参照してください。

3. バックアップした agent.conf ファイルのコピーをテキストエディタで開きます。

agent.conf ファイルの例を次に示します。

```
host: scServer@Lyon
command: rc_domino
```

4. 新しい allowed_commands.config ファイル（/install_path/scAgent4.1.x/etc/allowed_commands.config）をテキストエディタで開き、agent.conf から allowed_commands.config ファイルにコマンドラインをコ

ピーします。ただし、最新の Snap Creator でのセキュリティの強化により、コマンドが完全に認定されていることを確認してください。

前述の例では、 `allowed_command.config` ファイルに次の情報を指定する必要があります。

```
command: /etc/init.d/rc_domino
```



コマンドにスペースが含まれている場合は、コマンドを引用符で囲む必要があります。

必要に応じて、コマンドを個別の行に追加できます。

変更を行った後、ファイルを保存して閉じます。

5. テキストエディタで `agent.properties` ファイル (`/install_path/scAgent4.1.x/etc/agent.properties`) を開き、`authorized_hosts=*` のデフォルトエントリを変更して、`agent.conf` ファイル内のホストの設定を反映します。

前述の例では、`authorized_hosts` パラメータに次の値を指定する必要があります。

```
AUTHORIZED_HOSTS=Lyon
```

ホストは必要に応じて追加できます。複数のホスト名を指定する場合はカンマで区切ります。ホスト名と IP アドレスの両方がサポートされます。

```
AUTHORIZED_HOSTS=Lyon, 10.10.10.192, Fuji01
```

変更を行った後、ファイルを保存して閉じます。

6. 次のコマンドを入力して、 Snap Creator エージェントを起動します。

```
/install_path/scAgent4.1.x/bin/scAgent start
```



`allowed_command.config` ファイルまたは `agent.properties` ファイルを変更する場合、変更を行ったときには Snap Creator エージェントを再起動する必要があります。

- 関連情報 *

[UNIX ベースのシステムへの Snap Creator エージェントのインストール](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。